

# 新型コロナウイルス感染拡大「自爆営業」「風とおしの悪い職場」を一掃し、20春闘勝利へ！

# ゆうこう21

郵政産業労働者ユニオン  
機関紙・ゆうこう21  
NO・1453号  
2020年2月29日(土)  
安芸府中支部  
発行責任者 教宣部長 杉谷 宏幸

新型コロナウイルスが勢いを増しています。色々なイベントが中止・延期となる、また、かんぽ生命の不正営業問題が社会問題となる中で、20春闘です。

本社との賃金交渉経過は

中央本部は日本郵政グループ各社と第1回賃金交渉を2月17日に開催し「2020年4月1日以降の

賃金引上げに関する要求書」を提出し、組合から趣旨説明を行いました。全国の職場で集めた春闘要求アンケート結果に触れながら、正社員、期間雇用社員、短時間社員、高齢再雇用社員、すべてにおいて厳しい生活実態にあること、また、要員不足解消に向けた要求が多いことをあげ、「全国から寄せられた切実な要求に対し3月11日までに誠意ある回答」を求めました。

2月19日、第2回賃金交渉で、3月期の第3四半期決算の概要について郵政グループ4社から説明を受け、「新型コロナウイルス感染症に係る勤務等の扱いについて」、情報提供を受けました。また、2月28日には、政府から、小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の臨時休校の要請が出されたこと等を踏まえ、追加対応の情報提供がありました。(掲示板参照)

3・2郵政本社前集会の中止

私達郵政ユニオンは、全国の職場で、多くの「郵政に働く非正規社員の均等待遇と正社員化を求める」署名を集約し、3月2日に「郵政に働く非正規社員の均等待遇と正社員化を求める」日本郵政本社前集会と院内集会を20春闘第一波全国統一行動と位置づけ、準備していました。新型コロナウイルスの感染は日々拡大傾向で、組合員の安全と健康を守る立場から検討を積み重ねた結果、中止することとなりました。署名は本社に提出されました。ちなみに安芸府中支部で160筆の署名が集まりました。

これだからダメ！  
現場の声を聴け！

先日のテレビ報道で日本郵便・衣川和秀社長は「自爆営業は」完全に

なくなっていますと言える状況ではない。としてノルマ廃止のはずが、今も一部の現場で続いていることを明らかにしました。またある報道で衣川社長は「風通しに問題がある」と述べ、本社と支社、郵便局の情報共有の在り方を見直す必要性があるとした。更に「本社、支社が(現場を)分かっていないというが、本社のことも郵便局にちゃんと伝わっていない。双方向で問題がある」と述べた。

この会社、いずれも進歩なし。現場の声、組合の要求を真剣に聞かない。非正規の切実な声を聴け！だから問題が大きくなるのだよ。